

# 「事業名:インターンシップ型農業・農村総合活性化戦略プロジェクト」 2022年度補助事業の実績・成果

**東京農業大学 連携市町村:浪江町**

**連携市町村との協定締結日:2019年1月31日 現地拠点:双葉郡浪江町 福島舞台ファーム株式会社  
(2階事務室)**

## 事業のポイント

福島県浪江町では就農拡大・スマート農業・6次産業化に向けた現地活動の実績から地域企業への就職者2名を輩出した。しかし、更なる移住・定住などの人材定着が課題であり、インターンシップ型の教育研究プログラムを実施し、地域企業等との連携による各種の戦略的プロジェクトを展開し、農村地域全体の活性化に取り組む。

## 今年度の活動実績

事業の2年目となる2022年度、現地での活動としては、「一般農業実習体験コース(福島舞台ファーム(株)の圃場による「浪江復興米」の田植え、収穫、試食等)」、「特別実習プロジェクトコース(ペピーノ、玉ねぎ、ニンニク、花き、里山景観樹木支援)」、「特別インターンコース(松本農園、荒川園芸、なみえ星降る農園、イチジク生産組合)」を実施し、オンラインでの活動としては「復興浪江学」、「新規就農実践講座」を実施することができた。とくに特別インターンでは、現地の農業者・企業経営者との懇談会を実施することで交流を深め、充実したプログラムとすることができた。

また、プログラムに参加する学生の自発的な活動として学生プロジェクト(なみえ知ってもらい隊)が立ち上がり、現地活動以外にも学内での活動拠点を形成することができた。



写真1 浪江復興米の田植え(5月)



写真2 松本農園でのインターン(8月)

## 今年度の成果

第1に人材育成の観点からは、現地活動とオンラインによる体系的なインターンシップ型の教育研究プログラムを本学の大学生に対して実施し、現地活動の実人数として172名の学生が活動を行い、将来的な浪江町への交流人口・関係人口として期待できる「復興支援サポーター」は32名輩出することができた。

第2に地域活性化の観点からは、商品開発につながる活動として、「特別インターンコース」でイチジクを活用した学生の商品提案が行われ、今後の活動により期待が持てる内容となった。



写真3 イチジク商品の提案(12月)